

平成26年1月27日

川口市民オンブズマン

代表 村松幹雄 様

川口市長選挙立候補予定者 奥ノ木信夫

川口市政に関する公開質問状への回答

標記の件について、下記のとおり回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

① 故・岡村幸四郎市政に関する評価と目指す市政

いわゆる「バブル景気」の破綻した厳しい財政状況の下、16年間にわたり抜群の先見性と卓越した行政手腕を発揮し、全国初、県内初となる様々な政策を次々に打ち出すとともに、約1,385億円の経費と497人の職員を削減するなど、その市政運営につきましても、敬意を表すべきものと評価しております。

私の目指す市政といたしましては、「個性を活かし自立した地方自治の実現」「財政力に見合った市政運営」「政策提案型議会への期待」「住民本意・市民参加型市政の推進」。この4つを基本姿勢に、故・岡村市長が道筋を付けた「市立高等学校3校の再編・統合」「火葬施設を含む歴史自然公園の整備」「老朽化した市庁舎の建て替え」のいわゆる「3大プロジェクト」を継承し推進するとともに、「みんなでつくる川口の元気」「弱いところに光をあてる」をスローガンに、「中核市への移行による地方分権の推進」「ものづくり産業への支援強化」「緑化産業と都市農業の活性化」「女性の社会進出支援」「通勤・通学時の混雑緩和」「警察署の新設による治安の向上」に、まずは取り組みたいと考えております。

② 情報公開制度

・ 情報公開手数料について

平成17年3月18日付けの川口市情報公開・個人情報保護運営審議会の「受益者負担が原則であり手数料については有料とすべきである」との答申を尊重したいと考えております。

・ 営利目的の大量請求について

営利目的であることを考慮した手数料等を再設定することにつきましては、「営利目的」の定義づけなどの課題がありますので、今後慎重に研究したいと考えております。

③ 川口市の財政

・ 自主財源比率の低下について

財政運営の自主性と安定性を確保するために、市税収納率の向上や不用資産の売却など、自主財源の確保に努めたいと考えております。

- ・ 悪化する経常収支比率について

経費の削減など、健全な行財政運営に努めたいと考えております。

- ・ 市債と将来負担の増加への懸念について

市債につきましては、財政負担を平準化し、世代間の負担を公平にする機能がありますが、次世代に過度の負担を残すことがないように適正に執行したいと考えております。土地開発公社の改善につきましては、早期健全化に努めたいと考えております。

④ 名誉市民条例・公葬

川口市名誉市民条例は、広く社会、政治、文化の興隆に功績のあった方に対し、その功績をたたえ、もって市民敬愛の対象として顕彰することを目的に制定されたものであります。名誉市民の称号を贈ることのできる方は、公共の福祉を増進し、本市の発展、市民生活の向上又は社会文化の進展に貢献し、その功績が顕著で市民が郷土の誇りとし、かつ、尊敬に値する方で、川口市名誉市民審議会の審議を経た上で議会の同意を得て選定されるものであります。その功績をたたえ、顕彰するためにも、必要事項を規定している同条例は存続すべきものと考えております。

一 昨年の公葬につきましては、同条例の規定に基づき、議会の同意を得て実施されたものであり、適切なものと考えております。今後の公葬実施につきましては、その時代における社会情勢や財政状況を勘案するとともに、ご遺族の意向なども踏まえながら慎重に検討したいと考えております。